

# News Letter

ニュースレター

2019.9 vol.113



## 特集◎ アートとまちづくり アートはまちをどう変える?

平成30年度研究成果報告会 特別講演

公共交通情報のデジタル化でおでかけが変わる  
～ICTで広がる地域公共交通の可能性～

まちづくり支援

まちづくり活動助成団体活動成果報告&交流会

まちづくり来ぶらり

四間道 名古屋市西区

# アートとまちづくり アートはまちをどう変える？



**港まち手芸部**  
さまざまな世代がテーブルを囲んで編み物とおしゃべりに花を咲かせる。この活動が知られ地区内外から毛糸が寄付される。



**港まちポットラックビル**  
「持ち寄り料理」という意味を持つ。場所や時間を共有し、楽しく創造的な行為を生み出そうという思いが込められている。



アーティストの活動をサポートする「MAT, Nagoyaスタジオプロジェクト」。アーティストが2か月間滞在し港まちを歩き、人との出会いを通して作品制作を行う。今回参加した蓮沼昌宏さん(写真左)。



**2階プロジェクト・スペース**



## 港まちに根づくアートプログラム

かつて町の多くの人々が名古屋港で働き、その発展を支え、名古屋港とともに歩んできた港区西築地学区。昔の喧騒こそなくなったものの、人付き合いの濃さと下町情緒を残すこのまちで、港まちづくり協議会は「なごやのみ(ん)なとまち」を合言葉にまちづくりを進めています。その拠点が旧文具店を再生した港まちポットラックビル (Minato-machi POTLUCK BUILDING)。ここは、まちづくりの拠点であると同時に、現代アートの企画展が開催されるなど、粋にとらわれず創造的なまちづくりを展開し港まちを発信しようという場所です。2015年から始まったアート

プログラム「MAT, Nagoya (Minato-machi Art Table, Nagoya)」\*はその核となるもの。全国から招いたアーティストの企画展示やアーティストの活動をサポートする「MAT, Nagoya・スタジオプロジェクト」などさまざまなプロジェクトを展開しています。

「何やとるかわからんって、今も言われますよ」と笑うのは港まちづくり協議会事務局次長の古橋敬一さん。「でも別の窓が開くのが面白い」とも。「昔、絵をやった」「美大へ行きたいんだけど」。通りすがりの人がアーティストと言葉を交わし、ダンスパフォーマンスを見て小学生がそわそわする。「作品を見た時、どう感じるかは自由。子どもからおばあちゃんまで、本音の反応が出てきて、まちの人たちとの距

離が縮まる」。2016年にスタジオプロジェクトに参加した宮田明日鹿さんは、家庭用電子編み機を改造して作品をつくるアーティスト。空き店舗を利用して開設したウィンドーギャラリーで制作を開始すると、手芸好きの地元の女性たちが興味津々。宮田さんはこれをきっかけにこの地区にスタジオを構え、親しくなった人たちと「港まち手芸部」を結成。今も活動を続けています。

「アートって特別なことじゃなくて、今あるものをもう一度しっかり見て新しい価値を浮かび上がらせようということ。アプローチは違うけれどまちづくりも同じ。そういうことを必死でやっているアーティストとの出会いは貴重だと思います。」

\*「MAT, Nagoya (Minatomachi Art Table, Nagoya)」 港まちをフィールドとしたアートプログラム。港まちづくり協議会が母体となり、プロポーザルコンペ方式で事業者を決定する。



上/円頓寺に滞在して作品を制作した寿山凡太郎さん。  
下/商店街のビルに展示された作品 寿山凡太郎《Synchronized Cherry Blossom》2019



## 円頓寺商店街は トリエンナーレをどう活かすか

8月1日、「情の時代」をテーマに開幕したあいちトリエンナーレ2019。円頓寺本町・円頓寺商店街と四間道は「まちなか会場」となり、愛知県指定有形文化財「伊藤家住宅」をはじめアーケード下や洋服店、寺院の駐車場など9か所で作品が展示されています。円頓寺商店街は、今、まちづくりで注目の場所。店主の熱意とアイデアで次々と繰り出される多彩なイベント、成果をあげる空き店舗対策、老舗喫茶店の再オープンなど、全国から視察者を集めています。そんな商店街にアートの一大イベントがやって来た。「にぎやかになるのは大歓迎。でもトリエンナーレを知らない地域住民もい

## アートとまちづくり アートはまちをどう変える？



て、最初はそのギャップを埋めるのが大変でした」と、円頓寺商店街振興組合理事長の田尾大介さん。商店街、地元代表、実行委員会、津田大介芸術監督との定期会合や住民説明会はもちろん、手づくり新聞「芸術監督通信」を全戸配布したり、プレイベントを地元の旧小学校で開催するなど商店街メンバーは、実行委員会と住民のつなぎ役として奔走しました。6月下旬からは、アーティストがまちに滞在し制作を開始。「この場所が自分の表現を広げるいい場所だと思ってもらえたらいい」と田尾さんは言います。

七夕まつりやパリ祭、イベントを打てば多くの人々がやって来る円頓寺商店街。しかし、この先を見据えると、日常の中の魅力づくりが必要だと田尾さん。「長い時間の蓄積を感じさせるこのまちは、アートと相性がいいと思う。

トリエンナーレで生まれたつながりを活かして、アートをまちの魅力づくりに加えたい」とトリエンナーレ後の展開を思い描いています。

## アートがまちにもたらすもの

「まちづくり」というと、具体的なテーマで課題を解決する取り組みが多いなか、「アート」は少し様相がちがうようです。「普通にある日常のなかに、素敵なことが起きているんだと気付く視点をくれるのがアート」と古橋さん。アーティストの視点、作品が投げかけるものが、ともしれば型にはまっていくなや社会に気づきをもたらす、じっくり、ゆっくり人々の中に根を下ろす、それがアートの力なのかもしれません。

円頓寺商店街を珊瑚色に彩る  
アイシェ・エルクメン《Living Coral/  
16-1546/商店街》2019



会期中の拠点「なごのステーション」



## アート×中川運河 ARToC10(アトック10)

かつて名古屋港と都心を結ぶ水運物流を担った中川運河。いまではその役割を終え、名古屋市と名古屋港管理組合による中川運河再生計画が進む中、市民グループも、中川運河の魅力を発信しようとさまざまなイベントを行ってきました。再生計画の趣旨に賛同されたリンナイ㈱の寄附を活用し、2013年から名古屋都市センターでも「ARToC10」を開催。公募で選ばれたアーティストが、映像や音楽、インスタレーション展示を組み合わせたパフォーマンスなどで中川運河を彩り、地域をはじめ多くの人を魅了しています。



松重開門を背景に行われた「中川運河の水面に咲く電子植物」。昨年に続き、今年も11月2日(土)に開催予定です。



# 公共交通情報のデジタル化でおでかけが変わる

## ～ICTで拡がる地域公共交通の可能性～

**令** 和元年7月3日、平成30年度研究成果報告会において名古屋大学客員准教授福本雅之様から、特別講演「公共交通情報のデジタル化でおでかけが変わる」と題して講演いただきました。

近年、ICカードやインターネットでの検索対応など、公共交通分野におけるICT技術の開発が進みつつあります。地域公共交通の情報発信におけるデータの重要性やデータ整備が進む中で課題など、講演内容の一部をご紹介します。



### 公共交通情報発信の変化

公共交通情報の発信は、事業者がホームページで時刻表を提供するものから、コンテンツプロバイダ（以下CP）による乗換情報が提供されるようになり、今ではさらに地図アプリで目的の施設名等が検索できるトータルナビゲーションが可能となりつつあります。

### 電子化・データ標準化が遅れている公共交通業界

事業者に関係なくカーナビのように公共交通を検索できるようにするためには大きな問題があります。それは公共交通業界、特にバス事業者の電子化やデータ標準化の遅れです。

「紙と鉛筆とFAXと職人技」による業務体制、安全・安定運行第一で情報発信の優先度が低い、事業者ごとの独自文化が強く他社のデータとの統合が困難、これらをCPは、気合いと人海戦術で乗り切って検索に対応している状況です。

### CPによる対応の限界

CPは事業者から出てきたデータを加工しているに過ぎないため、事業者の情報の出し方によっては、古い情報が掲載され続けたり、乗り場の位置が不正確であったりといった問題が生じます。（図1）

経路検索への対応は現代の公共交通事業者に必要な不可欠ですが、事業者のデータ標準化やその精度に対する意識を高めなければ、正しい経路案内は実現できません。

### 標準的なバス情報フォーマット (GTFS-JP)

解決の方向性として、「標準的なバス情報フォーマット (GTFS-JP)」という統一のデータ形式で時刻表や地理情報を事業者自らが整備することが挙げられます。

### 中津川市の取り組み

中津川市では、中山道馬籠宿を訪れる外国人観光客が急増しています。彼らは駅からバスで移動するため、Googleマップでバスの検索ができるようにしようということで、市役所職員がGTFS-JPデータの整備を行いました。

た。その結果、「セントレアから馬籠」などの検索も可能になりました。英語でも検索可能で外国人観光客にとって大変便利になりました。（図2）

### オープンデータ化の効果

GTFS-JPデータはオープンデータにすることでより効果を発揮します。オープンデータとして公開することで、CPのみならず、さまざまな企業や個人が自由にアプリやサービスを展開することが可能となります。他のオープンデータと組み合わせれば、調査や研究にも活用できます。一つのデータを作った結果が多くの人に恩恵をもたらすということがオープン化の大きな特徴です。

### データでおでかけが変わる

交通事業者のデータ整備とオープン化が進むことで、乗換案内で「目的地のバス停が分からなくて検索できない」なんてことはなくなります。行きたい場所、やりたいことを検索すれば最適な交通機関とルートが検索できるようになります。このように、移動にまつわるストレスが減っていくといいなと思います。

#### 気合いで乗り切ってきた限界

2019/7/1 GoogleMapsで検索

例：名古屋都市センターから愛知県図書館の経路



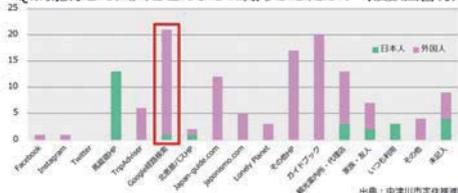
これでは目的地にたどり着けない！

図1 名古屋駅のバス停はロータリー？

#### 中津川市でのGTFSデータ整備の効果

◆北恵那バス馬籠線利用者アンケート

Q:馬籠行きのバスをどのように知りましたか？（複数回答有）



- 特に外国人観光客にGoogle経路検索が有効
- 問い合わせがあっても「Googleマップで検索できます」の一言で片付く

データ整備の効果は絶大！

図2 外国人観光客はGoogleマップ検索が多い



## 【まちづくり支援】



# まちづくり活動助成団体 活動成果報告&交流会

【開催日】4月20日(土) 13:15~16:30

【会場】名古屋都市センター 11階ホール

### 活動成果報告会

昨年度のまちづくり活動助成「スタートアップ部門」・「まち“夢”工事部門」の助成を受けて活動した団体のみなさんによる、活動成果の報告会・交流会を開催しました。

報告会では、1年間の活動を通して、良かったことや、苦労したこと、お互いへのアドバイスなどを共有。交流会では、団体のみなさんに加えて、これから活動したい方や一般の方も一緒になって、活発な意見が交わされ、「まちづくりってやってみると楽しい!」と感じられる素敵な時間となりました。



### 交流会・パネルディスカッション



#### 交流会の声 Pick Up!

#### 活動での悩み

「イベント・PRや地域との関わりをどうすべきか難しかった」

#### 意気込みや感想

「ワークショップなどを通して、地域の方たちと距離を縮めていきたい」  
「まちづくり活動をやってよかった!」

#### 活動へのアドバイス

「町内会や自治会との連携が大切。自治会のイベントなどにも、活動団体として積極的に参加していくことで、地域でのつながりができる!活動の幅が広がる!」

### 今年度の「スタートアップ部門」交付団体と活動名

昨年度を越える計9団体のみなさんが、地域の中でバラエティ豊かな活動に取り組んでいます。

- |   |                      |  |
|---|----------------------|--|
| 1 | 覚王山コミュニティ・アーカイヴ      | 覚王山商店街のビジュアル(写真・映像)アーカイヴの収集と活用を通じた商店街文化の醸成 |
| 2 | 桃山学区防災ミーティング         | 各地域の連携協力による防災力強化と助け合いの環境づくり                |
| 3 | 桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会 | 指定避難所における健康・衛生管理活動                         |
| 4 | 大門まちづくり友の会           | わが街大門(おおもん)の魅力をもっと多くの方に発信しよう!              |
| 5 | 大幸東団地ふれあい広場          | 大幸東団地ふれあいひろば「だべりJing」                      |
| 6 | 梅が丘三世を繋ぐ会            | うめがおかsunプロジェクト                             |
| 7 | ナゴヤSUP推進協議会          | 川も(川面)探検隊                                  |
| 8 | ひょうたん寺子屋実行委員         | 勉強ってホントは楽しい!ひょうたん寺子屋へ来て、まずは宿題・課題からやってみよう!  |
| 9 | ●●●スリドット             | 持続可能なまちづくりスタディ                             |

### 進行・コーディネーター

#### ◎三矢 勝司さん

みなさんの活動はスタートアップであり、今後チャレンジしようと考えている団体の先駆けです。後に続く団体のためにも、活躍を期待しています。また、自分たちだけの活動の垣根を越えて、一緒にコラボレーションして大きくなっていくことが、名古屋のまちづくりを良くしていきます。私もみなさんを見守り、応援しています。

# まちづくり来ぶらり

第80号

まちづくりライブラリー  
 全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料や研究機関の調査研究報告書なども収集しています。



## 四間道 名古屋市西区那古野丁目

四間道は堀川から1本西側の旧大船町と旧沢井町の間の南北の通りです。このあたりは清須越※の際に多くの商人が移住し間屋街になっていました。

1700(元禄13)年2月に円頓寺付近で出火し、1600棟以上が消失するという大火災が発生しました。防火対策のために道幅を3間から4間に広げたことが四間道という名称の由来の一つとされています。また、通りの東側は石垣の上に土蔵が建てられました。これは西側で火災が発生した場合に名古屋の中心地である城下町の方へ広がらないようにする防火と防災の両方の役割があります。西側には中2階建ての古くからの町屋が多く残っており、中2階は塗籠、1階は格子になっています。この辺りは戦災による被害をほとんど受けることがなかったため、歴史的な風情を感じられます。

四間道は1986(昭和61)年に「町並み保存地区」に指定されました。四間道のほかに有松地区、白壁・



主税・榎木地区、中小田井地区が指定されています。現在は町屋や土蔵がリノベーションされており飲食店や商店として営業しています。

※清須越：当時、政治の中心だった清須の町を現在の名古屋へ城下町(家・社寺・町名・住民を含む)そのものを移動させたこと。

### ◆参考文献◆

さらに詳しく知りたい方は、こちら ➡

- 『新修名古屋市史 第3巻』  
 新修名古屋市史編集委員会／編(Sc-カ)
- 『歴史の町なみ 関東・中部・北陸篇』  
 保存修景計画研究会／編(Lc-ホ)
- 『明治・大正・昭和 名古屋地図さんぽ』  
 溝口常俊／監(Sc-ミ)
- 『なごやの町名』角川書店／編(Se-カ)
- 『御座船浪漫 街に堀川が生きていたころ』  
 新内俊次／著(Se-シ)
- 『名古屋地名の由来を歩く』谷川彰英／著(Se-タ)
- 『名古屋の町並と建築』  
 名古屋市経済局観光貿易課／編(Se-ナ)
- 『名古屋市四間道町並み保存事業』  
 名古屋市教育委員会／編(2B40-86)

※( )内はまちづくりライブラリーの請求記号です。

## 図書紹介

### 『築地市場 クロニクル完全版 1603-2018』

著者：福地享子+築地魚市場銀鱗会  
 出版社：朝日新聞出版  
 請求記号：Bc-7

2018年10月に日本を代表する世界最大級の市場、【築地市場】が閉場しました。1962年に開館した築地市場内にある小さな図書室【銀鱗文庫】の資料をベースに編んだ完全年代記です。約400枚の貴重な写真で綴る築地市場の歴史は、在りし日の息づかいまで感じられるようです。築地を愛し続けた著者の渾身の一冊です。



### 『地元がヤバい…と思ったら読む凡人のための地域再生入門』

著者：木下斉  
 出版社：ダイアモンド社  
 請求記号：Cg-4

実家の母から店を売りたいという連絡を受けた主人公は、個人的な問題から、いつの間にか地元の問題と関わるようになります。本書は、日本の地方都市が抱えるシャッター街、地域の衰退を再生していく過程を小説仕立てで解説しています。主人公と一緒に地域再生を体験してみませんか？



### 『動物園巡礼』

著者：木下直之  
 出版社：東京大学出版会  
 請求記号：Pe-4

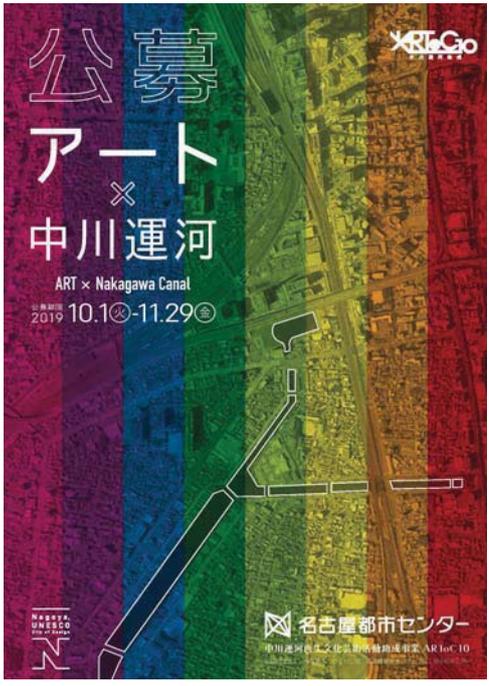
軽妙な筆致で紹介される一味違った動物園紹介に一気に引き込まれます。東海地方の動物園も紹介されており、鶴舞公園内にあった動物園、東山動物園等、知られざるエピソードが満載です。本書を読んだ後に、身近な動物園に行ってみると、いつもとは違う楽しみ方ができるかもしれません。



1

令和2年度

中川運河助成ARToC10(アートックテン)の募集



名古屋都市センターでは、中川運河「にぎわいゾーン」の魅力向上をめざし、中川運河を舞台とする市民交流・創造活動につながる、アートへの助成を行います。

中川運河の「場」を活かす斬新な発想と実験的な取り組みにより、「シビックプライド(街への誇り)」を地域に育む創造的なアートを募集する「プロジェクト部門」と、プロ・アマ問わず、すべての人がアートでチャレンジし、市民や地域の方々の運河への関心を高めるようなアートを募集する「トライアル部門」での募集を行います。多くの方のご応募をお待ちしております。

※アート…作品発表やワークショップ、イベントの開催などの活動

《助成金額》

- プロジェクト部門 最大300万円
- トライアル部門 最大50万円

応募は、どちらかの部門に対して1提案のみ可能です。

《応募できる方》

東海三県(愛知・岐阜・三重)に在住または在勤、在学する者、またはその者を構成員に含む団体。(代表者は20歳以上であること)

《応募受付》

10月1日(火)～11月29日(金) 17時まで 場所:名古屋都市センター13階

応募方法など詳細は名古屋都市センターHPをご覧ください。

<http://www.nup.or.jp/nui/human/nakagawa/index.html>

※この助成事業は、「中川運河再生計画」(平成24年10月名古屋市・名古屋港管理組合策定)の趣旨に賛同されたリンナイ株式会社の寄附を活用しています。

2

平成30年度 調査研究報告書

名古屋都市センターの研究成果をまとめた報告書が完成しました。詳しい内容は、ホームページ(<http://www.nup.or.jp/nui/>)をご覧ください。

一般研究

自動運転がまちづくりに及ぼす影響に関する研究

中川運河地区における産業空間の価値向上に関する研究

名古屋都心における路地的空間の形成可能性の基礎研究

官民連携によるまちづくりについて  
～名古屋市における活用可能性～

道路の整備におけるストック効果について

災害に関する情報の「伝え方」  
～ハザードマップから見る情報について～

NUIレポート

名古屋復興都市計画街路の変遷

3

ぼうさいこくたい2019@NAGOYA 開催!



子どもから大人まで防災・減災を学べる日本最大級の防災イベントが、今年は名古屋で開催! 今回のテーマは、「大規模災害に備える-まなぶ・つながる・つよくなる-『防災を、もっと日常に』」です。

防災に関するセッション、ワークショップからステージイベントやぼうさいモーターショーまでさまざまなプログラムが用意され、当センターも参加します。

楽しみながら防災を学んでみませんか?

《日時》

10月19日(土) 10:00～18:00(屋外展示は16:00まで)  
10月20日(日) 10:00～16:00

《会場》

名古屋市ささしまライブエリア 入場無料  
(名古屋コンベンションホール・パークエリア・キャナルゲートエリア)

詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://bosai-kokutai.jp/>

いつも News Letter (ニュースレター) をご愛読いただきありがとうございます。  
名古屋都市センターと広報誌 News Letter (ニュースレター) に関するアンケートにご協力ください。  
ご記入いただいた内容は、名古屋都市センターの事業や広報誌の改善に利用させていただきます。

## 《アンケートの回答方法》

### ●アンケートフォームからのご回答

こちらの QR コードから  
アンケートフォームにアクセスして  
ご回答ください。



### ●郵送またはFAXでのご回答

誌面をコピーしご記入いただいたうえで、  
下記の宛先までご送付ください。  
《宛先》 〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号  
金山南ビル13階  
名古屋都市センター企画課 ニュースレター係  
FAX : 052-678-2209

### ●メールでのご回答

誌面にご記入いただきスキャンした  
うえで、下記のメールアドレスまで  
ご送付ください。  
main@nup.or.jp

## 《アンケート》

### Q1 News Letter (ニュースレター) をどこで 入手されましたか?【必須】

- 名古屋都市センター
- 図書館
- 生涯学習センター
- 美術館や博物館等の文化・教育施設
- 観光案内所
- 大学
- 講演会やセミナー等
- その他: \_\_\_\_\_

### Q2 今号 (vol.113) で良かった記事はどれですか? (複数回答可)【必須】

- 特集「アートとまちづくり」
- 平成30年度研究成果報告会 特別講演「公共交通情報のデジタル化でおでかけが変わる～ICTで拡がる地域公共交通の可能性～」
- まちづくり支援  
「まちづくり活動助成活動成果報告&交流会」
- まちづくり来ぶらり
- INFORMATION
- 特にない

### Q3 前号 (vol.112) まで掲載していた 名古屋のまち今昔について【必須】

- 継続してニュースレターに  
掲載してほしい
- 掲載しなくてもよい
- 分からない
- その他: \_\_\_\_\_



### Q4 News Letter (ニュースレター) で取り上げてほしい記事は ありますか?【必須】

- センターで所蔵している貴重な古写真の掲載と解説
- 古地図の掲載と解説
- 名古屋市内各地の町の紹介
- その他: \_\_\_\_\_

### Q5 名古屋都市センター (所在地: 中区金山町1-1-1) の施設の 利用について (複数回答可)【必須】

- センターの主催する講演会やイベントに参加したことがある
- まちづくり広場 (11階) の常設展示や企画展を見たことがある
- まちづくりライブラリー (12階) を利用したことがある
- ホール (11階) や貸会議室 (14階) を利用したことがある
- HPを閲覧したことがある
- 利用したことはないが存在は知っている
- 利用したことがなく初めて存在を知った
- その他: \_\_\_\_\_

### Q6 名古屋都市センターが今後どのような場所になると 良いと思いますか? (複数回答可)【必須】

- 常設展示が誰にでも分かりやすい (易しい内容、外国語の併記など)
- 常設展示がより詳細で専門的な内容になる
- カフェで飲食をしながら展示を見ることができる
- Wi-Fiやコンセントの利用ができるカフェがある
- カフェでまちづくりライブラリーの図書を閲覧できる
- センターの職員に気軽にまちづくりの相談ができる
- まちづくりライブラリーでイベントを開催する
- 営業時間を夜間まで延長する
- まちづくり団体が作業や会議のため利用するスペースがある
- その他: \_\_\_\_\_

### Q7 年齢を教えてください。【任意】

- 70代以上
- 60代
- 50代
- 40代
- 30代
- 20代
- 10代

### Q8 職業を教えてください。【任意】

- 会社員
- 自営業
- 公務員・団体職員
- アルバイト・パート
- 学生
- 教職員・講師
- 専門職 (大学教授、医師、弁護士等)
- 無職
- その他

ご協力いただき  
ありがとうございました。



まちづくり広場 (11階)

公益財団法人 名古屋まちづくり公社

**名古屋都市センター**  
Nagoya Urban Institute

〒460-0023  
名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル  
TEL 052-678-2208  
FAX 052-678-2209  
http://www.nup.or.jp/nui/



## 利用案内◎どなたでもご利用いただけます。

【11階】まちづくり広場  
(展示スペース・ホール・喫茶コーナー)  
火～金曜日: 10:00～18:00  
土・日曜日・祝休日: 10:00～17:00

【12階】まちづくりライブラリー  
火～木曜日: 10:00～18:00  
金曜日: 10:00～20:00  
土・日曜日・祝休日: 10:00～17:00

【休館日】  
月曜日 (祝休日の場合はその翌日)・年末年始  
(まちづくりライブラリーは、上記のほか第4木曜日、特別整理期間も休館)

